

【 25 】 2025 年度 大学院シラバス

専攻分野/コース (英文名)	腎泌尿器外科学 (Urology)
研究指導教員	菊地 栄次
研究・教育の概略	腎泌尿器外科学には、泌尿器腫瘍・神経腎泌尿器・不妊/男性性機能障害・小児腎泌尿器科・内視鏡外科・腎移植・内分泌疾患など多くの関連する領域があり、それぞれが subspeciality として深く追求するに値する学問である。本分野では臨床における疑問や改善すべき点を自ら感じ取った若い泌尿器科医が、その探求心を満たすべく、臨床的・基礎的に研究を行い、その成果をまとめ、臨床に還元する場を提供する。 実際には、腎泌尿器外科学講座の研究室で施行可能な実験ばかりではなく、学内の他の基礎系講座や学外の研究施設との連携を綿密にし、その講座や施設ならではの研究も行うことができる。 大学院における4年間では、臨床と研究のバランスをとり、卒業の時点までに臨床のみに偏ることなく、リサーチマインドをもった視野の広い臨床医を育成し、泌尿器科医として生涯にわたって有用な知的財産を築くことを最終的な目標とする。
研究項目	1. 泌尿器科癌における新規腫瘍マーカーの開発 2. 泌尿器科癌における予後予測因子の同定 3. 泌尿器科癌における抗がん剤耐性機序解明 4. AI を用いた新規泌尿器科癌診断・治療アルゴリズムの構築 5. ABO血液型不適合腎移植における accommodation の機序の解明 6. 腎移植における至適免疫抑制法の開発 7. 排尿障害病態（前立腺肥大、過活動膀胱）の発症機序解明
準備学習(予習・復習)	個々の講義題目に最低限必要な予習・復習を記載するが、各種疾患などのガイドラインを熟読し、引用されている文献を収集し、読破することが求められる。また European Urology, The Journal of Urology などの主要な泌尿器科学主要論文を通読することで論文作成の準備も同時に進める必要がある。

2025 年度講義シラバス（１）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器科学特論（１）		必修/選択	必修	
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	1年		
テーマと目的	泌尿器科疾患の診断法を学ぶ。				
講義計画	実在する患者の病歴・身体所見・検査所見・画像診断所見から、その患者の問題点を抽出し、診断するプロセスを学ぶ。				
達成目標	泌尿器科疾患の診断に必要な病歴聴取・身体所見の取り方、検査所見の分析、画像の読影ができる				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	実際の患者を診察・治療しながら学習するので、その患者の病歴等を詳細に把握する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	自ら診察から得た情報から診断し、患者の問題点を挙げ、そのプロセスを完遂できる能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	病歴聴取法（１）		1		
2	病歴聴取法（２）		2		
3	病歴聴取法（３）		3		
4	身体所見のとりかた（１）		4		
5	身体所見のとりかた（２）		5		
6	身体所見のとりかた（３）		6		
7	身体所見のとりかた（４）		7		
8	検査所見の分析（１）		8		
9	検査所見の分析（２）		9		
10	検査所見の分析（３）		10		
11	検査所見の分析（４）		11		
12	画像読影の基礎（１）		12		
13	画像読影の基礎（２）		13		
14	画像読影の基礎（３）		14		
15	画像読影の基礎（４）		15		

2025 年度講義シラバス（2）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器科学特論（2）		必修/選択	必修	
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線3248		
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	1年		
テーマと目的	泌尿器疾患の治療法を学ぶ				
講義計画	実在する患者の治療法を学ぶ				
達成目標	基本的な泌尿器疾患を持つ患者の治療計画を立てることができる				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	実際の患者を診察・治療しながら学習する。その患者の治療法等を深く理解する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	泌尿器科学の知識に基づいて、患者の治療計画を自ら完遂できる能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1			1	尿路感染症の治療（1）	
2			2	尿路感染症の治療（2）	
3			3	尿路感染症の治療（3）	
4			4	尿路結石症の治療（1）	
5			5	尿路結石症の治療（2）	
6			6	尿路結石症の治療（3）	
7			7	排尿障害の治療（1）	
8			8	排尿障害の治療（2）	
9			9	排尿障害の治療（3）	
10			10	尿失禁の治療（1）	
11			11	尿失禁の治療（2）	
12			12	性機能障害の治療（1）	
13			13	性機能障害の治療（2）	
14			14	男性不妊症の治療（1）	
15			15	男性不妊症の治療（2）	

2025 年度講義シラバス（3）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器外科学		必修/選択	必修	
担当教員	中澤 龍斗	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	2年		
テーマと目的	外科学の一分野としての腎泌尿器外科学を学ぶ				
講義計画	外科的治療を行うべき泌尿器科疾患について総合的に学ぶ				
達成目標	実在する患者に対し、手術適応があるかどうかを判断し、手術術式を決定できる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	実際の患者の手術を通じて学ぶので、手術書を読み、手術記録を記載する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	自ら術前リスクを把握し手術適応・術式を決定する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓔ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓔ)
1	手術適応の決定（1）		1		
2	手術適応の決定（2）		2		
3	手術適応の決定（3）		3		
4	手術適応の決定（4）		4		
5	術前リスクの把握（1）		5		
6	術前リスクの把握（2）		6		
7	術前リスクの把握（3）		7		
8	術前リスクの把握（4）		8		
9	術前リスクの把握（5）		9		
10	手術術式の決定（1）		10		
11	手術術式の決定（2）		11		
12	手術術式の決定（3）		12		
13	手術術式の決定（4）		13		
14	合併症の予防対策（1）		14		
15	合併症の予防対策（2）		15		

2025 年度講義シラバス（4）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	泌尿器放射線診断学		必修/選択	必修
担当教員	水野 隆一	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	2年	
テーマと目的	画像を中心とした泌尿器科診断学を学ぶ			
講義計画	実在する患者の画像を詳細に検討し、画像読影能力を鍛える			
達成目標	1. 主要な泌尿器科疾患について画像診断上の特徴を述べられる。 2. 与えられた泌尿器系画像に対し、独力で独映ができる。			
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	実際の患者の画像を読影するので、同じ疾患の画像を複数検索し、その特徴を学ぶ。 1 時間			
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	泌尿器科の知識に基づき、自ら各種画像を読影し診断する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	尿路超音波断層法の読影 (1)
2			2	尿路超音波断層法の読影 (2)
3			3	尿路超音波断層法の読影 (3)
4			4	尿路超音波断層法の読影 (4)
5			5	尿路超音波断層法の読影 (5)
6			6	尿路CTスキャンの読影 (1)
7			7	尿路CTスキャンの読影 (2)
8			8	尿路CTスキャンの読影 (3)
9			9	尿路CTスキャンの読影 (4)
10			10	尿路CTスキャンの読影 (5)
11			11	尿路MRIの読影 (1)
12			12	尿路MRIの読影 (2)
13			13	尿路MRIの読影 (3)
14			14	その他の画像の読影 (1)
15			15	その他の画像の読影 (2)

2025 年度講義シラバス（５）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器腫瘍学（１）		必修/選択	必修	
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	2年		
テーマと目的	腎癌・尿路上皮癌の診断と治療を学ぶ				
講義計画	実在する腎癌・尿路上皮癌患者を診断し、治療計画を立てる過程を学ぶ				
達成目標	尿路上皮癌を診断し、治療計画を立案できる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	腎癌・尿路上皮癌についての総説を3編以上読破する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実在する患者情報を通して腎癌・尿路上皮癌を診断し、治療計画を立てる能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1	腎癌の診断と治療（１）		1		
2	腎癌の診断と治療（２）		2		
3	腎癌の診断と治療（３）		3		
4	腎癌の診断と治療（４）		4		
5	腎癌の診断と治療（５）		5		
6	腎盂・尿管癌の診断と治療（１）		6		
7	腎盂・尿管癌の診断と治療（２）		7		
8	腎盂・尿管癌の診断と治療（３）		8		
9	腎盂・尿管癌の診断と治療（４）		9		
10	腎盂・尿管癌の診断と治療（５）		10		
11	膀胱癌の診断と治療（１）		11		
12	膀胱癌の診断と治療（２）		12		
13	膀胱癌の診断と治療（３）		13		
14	膀胱癌の診断と治療（４）		14		
15	膀胱癌の診断と治療（５）		15		

2025 年度講義シラバス（6）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器腫瘍学（2）		必修/選択	必修	
担当教員	水野 隆一	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	2年		
テーマと目的	前立腺癌・精巣癌・陰茎癌の診断と治療を学ぶ				
講義計画	実在する男性性器癌患者を診断し、治療計画を立てる過程を学ぶ				
達成目標	前立腺癌・精巣癌・陰茎癌を診断し、治療計画を立案できる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	前立腺癌・精巣癌・陰茎癌に関する総説を3編以上読破する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実在する患者情報を用いて前立腺癌・精巣癌・陰茎癌を診断し、治療計画を立てる能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1			1	前立腺癌の診断と治療（1）	
2			2	前立腺癌の診断と治療（2）	
3			3	前立腺癌の診断と治療（3）	
4			4	前立腺癌の診断と治療（4）	
5			5	前立腺癌の診断と治療（5）	
6			6	前立腺癌の診断と治療（6）	
7			7	前立腺癌の診断と治療（7）	
8			8	前立腺癌の診断と治療（8）	
9			9	精巣癌の診断と治療（1）	
10			10	精巣癌の診断と治療（2）	
11			11	精巣癌の診断と治療（3）	
12			12	精巣癌の診断と治療（4）	
13			13	精巣癌の診断と治療（5）	
14			14	精巣癌の診断と治療（6）	
15			15	陰茎癌の診断と治療	

2025 年度講義シラバス（7）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器放射線治療学		必修/選択	必修	
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	1年		
テーマと目的	泌尿器科領域における放射線治療を学ぶ				
講義計画	実在する男性性器癌患者を診断し、放射線治療計画し、経過観察する過程を学ぶ				
達成目標	放射線治療を必要とする泌尿器疾患を診断し、治療計画を立案できる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	男性性器癌の放射線治療に関する総説を3編以上読破する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実在する患者情報を用いて、放射線治療を計画する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1			1	前立腺癌に対する放射線療法（1）	
2			2	前立腺癌に対する放射線療法（2）	
3			3	前立腺癌に対する放射線療法（3）	
4			4	前立腺癌に対する放射線療法（4）	
5			5	前立腺癌に対する放射線療法（5）	
6			6	前立腺癌に対する放射線療法（6）	
7			7	精巣腫瘍に対する放射線療法（1）	
8			8	精巣腫瘍に対する放射線療法（2）	
9			9	膀胱癌に対する放射線療法（1）	
10			10	膀胱癌に対する放射線療法（2）	
11			11	膀胱癌に対する放射線療法（3）	
12			12	膀胱癌に対する放射線療法（4）	
13			13	新しい放射線療法（1）	
14			14	新しい放射線療法（2）	
15			15	新しい放射線療法（3）	

2025 年度講義シラバス（8）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	総合泌尿器科演習（1）		必修/選択	必修	
担当教員	篠田 和伸	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	4単位（前期 2・後期 2）	履修年次	1年		
テーマと目的	泌尿器科疾患の診断から治療までを総合的に学ぶ				
講義計画	実在する泌尿器科疾患患者に対し、診断・治療計画の立案・経過観察を行う過程を総合的に学ぶ				
達成目標	代表的な泌尿器疾患に対し、自ら診断し、治療計画を立て、経過観察を行うことができる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	個々の症例に関する文献を検索し、読破する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	比較的難治性の実在する患者情報を用いて診断、治療計画を立案し、経過観察を行うことができる能力を総合的に習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1	ケーススタディ（1）		1	ケーススタディ（1）	
2	ケーススタディ（2）		2	ケーススタディ（2）	
3	ケーススタディ（3）		3	ケーススタディ（3）	
4	ケーススタディ（4）		4	ケーススタディ（4）	
5	ケーススタディ（5）		5	ケーススタディ（5）	
6	ケーススタディ（6）		6	ケーススタディ（6）	
7	ケーススタディ（7）		7	ケーススタディ（7）	
8	ケーススタディ（8）		8	ケーススタディ（8）	
9	ケーススタディ（9）		9	ケーススタディ（9）	
10	ケーススタディ（10）		10	ケーススタディ（10）	
11	ケーススタディ（11）		11	ケーススタディ（11）	
12	ケーススタディ（12）		12	ケーススタディ（12）	
13	ケーススタディ（13）		13	ケーススタディ（13）	
14	ケーススタディ（14）		14	ケーススタディ（14）	
15	ケーススタディ（15）		15	ケーススタディ（15）	

2025 年度講義シラバス（9）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	総合泌尿器科演習（2）		必修/選択	必修	
担当教員	中澤 龍斗	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	4単位（前期 2・後期 2）	履修年次	2年		
テーマと目的	泌尿器科疾患の診断から治療までを総合的に学ぶ				
講義計画	実在する泌尿器科疾患患者に対し、診断・治療計画の立案・経過観察を行う過程を総合的に学ぶ				
達成目標	代表的な泌尿器疾患に対し、自ら診断し、治療計画を立て、経過観察を行うことができる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	個々の症例に関する文献を検索し、読破する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	比較的難治性の実在する患者情報を用いて診断、治療計画を立案し、経過観察を行うことができる能力を総合的に習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1	ケーススタディ（1）		1	ケーススタディ（1）	
2	ケーススタディ（2）		2	ケーススタディ（2）	
3	ケーススタディ（3）		3	ケーススタディ（3）	
4	ケーススタディ（4）		4	ケーススタディ（4）	
5	ケーススタディ（5）		5	ケーススタディ（5）	
6	ケーススタディ（6）		6	ケーススタディ（6）	
7	ケーススタディ（7）		7	ケーススタディ（7）	
8	ケーススタディ（8）		8	ケーススタディ（8）	
9	ケーススタディ（9）		9	ケーススタディ（9）	
10	ケーススタディ（10）		10	ケーススタディ（10）	
11	ケーススタディ（11）		11	ケーススタディ（11）	
12	ケーススタディ（12）		12	ケーススタディ（12）	
13	ケーススタディ（13）		13	ケーススタディ（13）	
14	ケーススタディ（14）		14	ケーススタディ（14）	
15	ケーススタディ（15）		15	ケーススタディ（15）	

2025 年度講義シラバス（１０）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	泌尿器科学特論実習（１）		必修/選択	必修
担当教員	篠田 和伸	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	1年	
テーマと目的	泌尿器科疾患の診断から治療までを総合的に学ぶ			
実習計画	実在する患者に対し、指導医の下で基本的な泌尿器科的な診察を行う。			
達成目標	夜間急患センターを受診する患者に対し、指導医の下で適切な泌尿器科的診察を行うことができる。			
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	泌尿器科救急に関する総説を3編以上読破する。 1 時間			
成績評価法	出席と実習内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実在する緊急対応患者のデータを用いて、指導医の下で泌尿器科診察を行う能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	夜間急患センター実習（１）	1		
2	夜間急患センター実習（２）	2		
3	夜間急患センター実習（３）	3		
4	夜間急患センター実習（４）	4		
5	夜間急患センター実習（５）	5		
6	夜間急患センター実習（６）	6		
7	夜間急患センター実習（７）	7		
8	夜間急患センター実習（８）	8		
9	夜間急患センター実習（９）	9		
10	夜間急患センター実習（10）	10		
11	夜間急患センター実習（11）	11		
12	夜間急患センター実習（12）	12		
13	夜間急患センター実習（13）	13		
14	夜間急患センター実習（14）	14		
15	夜間急患センター実習（15）	15		

2025 年度講義シラバス（１１）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器科学特論実習（2）		必修/選択	必修	
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	1年		
テーマと目的	泌尿器科患者及び家族に対する病状と治療法の説明の方法を学ぶ				
実習計画	実在する患者に対し、指導医の下で泌尿器科患者の病状と治療法の説明を行う。				
達成目標	指導医の下で泌尿器科患者の病状と治療法の説明を行う。				
教科書・参考書	福島 統 編集 基礎臨床技能シリーズ 1 医療面接技法とコミュニケーションのとり方				
準備学習(予習・復習・時間)	上記参考書を読破して臨む。 1 時間				
成績評価法	出席と実習内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実在する患者に対し、指導医の下で泌尿器科患者の病状と治療法の説明を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1			1	面接実習（1）	
2			2	面接実習（2）	
3			3	面接実習（3）	
4			4	面接実習（4）	
5			5	面接実習（5）	
6			6	面接実習（6）	
7			7	面接実習（7）	
8			8	面接実習（8）	
9			9	面接実習（9）	
10			10	面接実習（10）	
11			11	面接実習（11）	
12			12	面接実習（12）	
13			13	面接実習（13）	
14			14	面接実習（14）	
15			15	面接実習（15）	

2025 年度講義シラバス（１２）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	泌尿器外科学実習		必修/選択	必修
担当教員	早川 望	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	2年	
テーマと目的	泌尿器科手術患者の術後管理法を学ぶ			
実習計画	実在する患者に対し、指導医の下で泌尿器科患者の術後管理を行う。			
達成目標	指導医の下で泌尿器科患者の適切な術後管理を行うことができる。			
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	術後管理に関する解説書を3編以上読破する。 1 時間			
成績評価法	出席と実習内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実在する患者に対し、指導医の下で泌尿器科患者の術後管理を行う能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席⓪)	後期(回)	内 容 (出席⓪)	
1		1	術後管理実習 (1)	
2		2	術後管理実習 (2)	
3		3	術後管理実習 (3)	
4		4	術後管理実習 (4)	
5		5	術後管理実習 (5)	
6		6	術後管理実習 (6)	
7		7	術後管理実習 (7)	
8		8	術後管理実習 (8)	
9		9	術後管理実習 (9)	
10		10	術後管理実習 (10)	
11		11	術後管理実習 (11)	
12		12	術後管理実習 (12)	
13		13	術後管理実習 (13)	
14		14	術後管理実習 (14)	
15		15	術後管理実習 (15)	

2025 年度講義シラバス（１３）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器放射線診断学実習		必修/選択	必修	
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	2年		
テーマと目的	泌尿器科疾患の画像診断を総合的に学ぶ				
実習計画	放射線科医とともに泌尿器画像の読影を行う。				
達成目標	泌尿器科系画像診断を独力で行うことができる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	超音波・CT・MRI に関する解説書を十分に読み、理解する。 1 時間				
成績評価法	出席と実習内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	放射線科医とともに泌尿器画像の読影を行い、より高い画像診断能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1	尿路超音波断層法の読影（1）		1		
2	尿路超音波断層法の読影（2）		2		
3	尿路超音波断層法の読影（3）		3		
4	尿路超音波断層法の読影（4）		4		
5	尿路超音波断層法の読影（5）		5		
6	尿路CTスキャンの読影（1）		6		
7	尿路CTスキャンの読影（2）		7		
8	尿路CTスキャンの読影（3）		8		
9	尿路CTスキャンの読影（4）		9		
10	尿路CTスキャンの読影（5）		10		
11	尿路MRIの読影（1）		11		
12	尿路MRIの読影（2）		12		
13	尿路MRIの読影（3）		13		
14	その他の画像の読影（1）		14		
15	その他の画像の読影（2）		15		

2025 年度講義シラバス（１４）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	泌尿器腫瘍学実習（１）		必修/選択	必修
担当教員	菊地 栄次	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	1年	
テーマと目的	腎癌・尿路上皮癌の診断と治療を総合的に学ぶ			
実習計画	実在する腎癌・尿路上皮癌患者の診断と治療を指導医とともに行う。			
達成目標	腎癌・尿路上皮癌患者の診断と治療を指導医とともに行うことができる。			
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	各疾患のガイドラインと取扱い規約を熟読する。 1 時間			
成績評価法	出席と実習内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実際の診療を通じて腎癌・尿路上皮癌患者の診断と治療を指導医とともに行う能力を習得する。			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容 (出席㊟)
1	腎癌の診療実習（１）		1	
2	腎癌の診療実習（２）		2	
3	腎癌の診療実習（３）		3	
4	腎癌の診療実習（４）		4	
5	腎癌の診療実習（５）		5	
6	腎盂・尿管癌の診療実習（１）		6	
7	腎盂・尿管癌の診療実習（２）		7	
8	腎盂・尿管癌の診療実習（３）		8	
9	腎盂・尿管癌の診断と治療（４）		9	
10	腎盂・尿管癌の診療実習（５）		10	
11	膀胱癌の診療実習（１）		11	
12	膀胱癌の診療実習（２）		12	
13	膀胱癌の診療実習（３）		13	
14	膀胱癌の診療実習（４）		14	
15	膀胱癌の診療実習（５）		15	

2025 年度講義シラバス（15）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	泌尿器腫瘍学実習（2）		必修/選択	必修
担当教員	水野 隆一	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	1年	
テーマと目的	前立腺癌・精巣癌・陰茎癌の診断と治療を総合的に学ぶ			
講義計画	実在する男性性器癌患者の診断と治療を指導医とともに行う。			
達成目標	前立腺癌・精巣癌・陰茎癌の診断と治療を指導医とともに行うことができる。			
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	前立腺癌診療ガイドラインと取扱い規約を熟読する。 1 時間			
成績評価法	出席と実習内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	実際の診療を通じて前立腺癌・精巣癌・陰茎癌の診断と治療を指導医とともに行う能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容 (出席㊥)
1			1	前立腺癌の診療実習（1）
2			2	前立腺癌の診療実習（2）
3			3	前立腺癌の診療実習（3）
4			4	前立腺癌の診療実習（4）
5			5	前立腺癌の診療実習（5）
6			6	前立腺癌の診療実習（6）
7			7	前立腺癌の診療実習（7）
8			8	前立腺癌の診療実習（8）
9			9	精巣癌の診療実習（1）
10			10	精巣癌の診療実習（2）
11			11	精巣癌の診療実習（3）
12			12	精巣癌の診療実習（4）
13			13	精巣癌の診療実習（5）
14			14	精巣癌の診療実習（6）
15			15	陰茎癌の診断と治療

2025 年度講義シラバス（１６）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	小児泌尿器科学			必修/選択	選択
担当教員	菊地 栄次		担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（前期 1）		履修年次	1年	
テーマと目的	小児泌尿器科疾患の診断と治療を学ぶ				
講義計画	小児泌尿器科疾患についてその特徴・診断・治療などを総合的に学ぶ				
達成目標	代表的な小児泌尿器科疾患について診断と治療計画の立案ができる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	上記参考書を熟読する。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	小児泌尿器科疾患についてその特徴・診断・治療などを総合的に学び治療計画が立案できる能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容 (出席㊥)		後期(回)	内 容 (出席㊥)	
1	発生学 (1)		1		
2	発生学 (2)		2		
3	小児泌尿器科診断学 (1)		3		
4	小児泌尿器科診断学 (2)		4		
5	腎盂尿管移行部狭窄 (1)		5		
6	腎盂尿管移行部狭窄 (2)		6		
7	腎盂尿管移行部狭窄 (3)		7		
8	膀胱尿管逆流 (1)		8		
9	膀胱尿管逆流 (2)		9		
10	停留精巣 (1)		10		
11	停留精巣 (2)		11		
12	尿道下裂 (1)		12		
13	尿道下裂 (2)		13		
14	神経因性膀胱		14		
15	その他の小児泌尿器疾患		15		

2025 年度講義シラバス（１７）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	腎移植学		必修/選択	選択
担当教員	篠田 和伸	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	1年	
テーマと目的	腎移植に関する基礎と臨床を学ぶ			
講義計画	腎移植を行うにあたって必要な知識を実際の症例を参考にしながら詳述する。			
達成目標	腎移植に関する患者からの質問に正しく答えることができる。			
教科書・参考書	PJ Morris: Kidney Transplantation 5 th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	当科の腎移植マニュアルを熟読して臨む。 1 時間			
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	腎移植についてその特徴・診断・治療などを総合的に学び、患者からの質問に答えることができる能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容 (出席㊥)
1			1	移植免疫学（1）
2			2	移植免疫学（2）
3			3	臓器移植の歴史
4			4	臓器移植にかかわる法律
5			5	慢性腎不全の治療（1）
6			6	慢性腎不全の治療（2）
7			7	慢性腎不全の治療（3）
8			8	免疫抑制剤（1）
9			9	免疫抑制剤（2）
10			10	免疫抑制剤（3）
11			11	腎移植希望者の評価方法
12			12	腎移植の手術術式
13			13	腎移植の成績・合併症
14			14	ドナーアクションプログラム
15			15	移植腎病理

2025 年度講義シラバス（１８）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学	
講義題目	泌尿器外傷学		必修/選択	選択
担当教員	中澤 龍斗	担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	2年	
テーマと目的	泌尿器科領域における外傷について学ぶ			
講義計画	泌尿器系外傷の診断と治療について実際の症例を用いて詳述する。			
達成目標	泌尿器科系外傷を診断し、治療計画を立案することができる。			
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	上記参考書の該当部分を熟読して臨む。 1 時間			
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	泌尿器系外傷を診断し治療計画を立案することができる能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容 (出席㊥)
1	腹部外傷総論		1	
2	腹部外傷の診断		2	
3	腹部外傷の治療		3	
4	腹部外傷の重症度と他科との連携（1）		4	
5	腹部外傷の重症度と他科との連携（2）		5	
6	外傷患者の全身管理		6	
7	腎外傷の診断と治療（1）		7	
8	腎外傷の診断と治療（2）		8	
9	腎外傷の診断と治療（3）		9	
10	膀胱外傷の診断と治療（1）		10	
11	膀胱外傷の診断と治療（2）		11	
12	膀胱外傷の診断と治療（3）		12	
13	尿道外傷の診断と治療（1）		13	
14	尿道外傷の診断と治療（2）		14	
15	尿道外傷の診断と治療（3）		15	

2025 年度講義シラバス（１９）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	泌尿器病理学		必修/選択	選択	
担当教員	早川 望	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（後期 1）	履修年次	2年		
テーマと目的	泌尿器科疾患の病理学的所見について学ぶ				
講義計画	病理医とともに実際の病理組織像を見ながら臨床所見との関連を学ぶ				
達成目標	泌尿器疾患の病理学的特徴について概要を述べることができる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	上記参考書の該当部分を熟読して臨む。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	泌尿器疾患の病理診断を病理医とともに供覧し病理学的特徴について概説できる脳力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓢ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓢ)
1			1	のう胞性腎疾患	
2			2	腎の発生異常	
3			3	前立腺肥大症	
4			4	腎癌（1）	
5			5	腎癌（2）	
6			6	腎癌（3）	
7			7	尿路上皮癌（1）	
8			8	尿路上皮癌（2）	
9			9	尿路上皮癌（3）	
10			10	精巣癌（1）	
11			11	精巣癌（2）	
12			12	精巣癌（3）	
13			13	前立腺癌（1）	
14			14	前立腺癌（2）	
15			15	前立腺癌（3）	

2025 年度講義シラバス（20）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	腎・高血圧特論		必修/選択	選択	
担当教員	水野 隆一	担当教員連絡先	内線 3248		
単位数	1単位（前期 1）	履修年次	1年		
テーマと目的	腎機能障害と高血圧・内科的腎疾患について学ぶ				
講義計画	腎機能障害と高血圧・内科的腎疾患について詳述する				
達成目標	腎機能障害と高血圧・内科的腎疾患について概要を述べることができる				
教科書・参考書	木村健二郎 監訳 WM腎臓内科コンサルト				
準備学習(予習・復習・時間)	上記参考書の該当部分を熟読して臨む。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	腎機能障害と高血圧・内科的腎疾患について知識を整理し、概説できる能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊥)	後期(回)	内 容	(出席㊥)
1	血尿に対する考え方		1		
2	蛋白尿に対する考え方		2		
3	腎機能の評価法		3		
4	内科的腎疾患（1）		4		
5	内科的腎疾患（2）		5		
6	内科的腎疾患（3）		6		
7	高血圧の治療（1）		7		
8	高血圧の治療（2）		8		
9	血液透析（1）		9		
10	血液透析（2）		10		
11	腹膜透析（1）		11		
12	腹膜透析（2）		12		
13	透析患者の水管理		13		
14	ブラッドアクセス		14		
15	副甲状腺機能亢進症		15		

2025 年度講義シラバス（ 2 1 ）

講義コード	※	専攻分野	腎泌尿器外科学		
講義題目	内分泌外科学			必修/選択	選択
担当教員	菊地 栄次		担当教員連絡先	内線 3248	
単位数	1単位（後期 1）		履修年次	1年	
テーマと目的	副腎疾患について学ぶ				
講義計画	内分泌異常を伴う副腎疾患について、その診断・治療法について詳述する				
達成目標	内分泌異常を伴う副腎疾患について、その診断を行い、治療計画を立案できる。				
教科書・参考書	Campbell-Walsh Urology 12th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	上記参考書の該当部分を熟読して臨む。 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表または受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	内分泌異常を伴う副腎疾患について診断し治療計画が立案できるような能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容 (出席㊤)		後期(回)	内 容 (出席㊤)	
1			1	内分泌検査法 (1)	
2			2	内分泌検査法 (2)	
3			3	内分泌検査法 (3)	
4			4	内分泌検査法 (4)	
5			5	内分泌検査法 (5)	
6			6	原発性アルドステロン症 (1)	
7			7	原発性アルドステロン症 (2)	
8			8	クッシング症候群 (1)	
9			9	クッシング症候群 (2)	
10			10	クッシング症候群 (3)	
11			11	褐色細胞腫 (1)	
12			12	褐色細胞腫 (2)	
13			13	褐色細胞腫 (3)	
14			14	腹腔鏡下副腎摘除術 (1)	
15			15	腹腔鏡下副腎摘除術 (2)	